PRESS RELEASE

「モノを消費する時代は終わりなのか?」 ~品質を超える価値創造~

東北大学 坂井信之教授による産学連携セミナー「寺子屋せんだい」開催のお知らせ

公益財団法人仙台市産業振興事業団(所在地:仙台市青葉区、理事長:村上 薫)では、地域企業 と大学等の研究者との連携を促進することを目的に、「産学連携セミナー 寺子屋せんだい」を継 続的に開催しています。

このたび、2025年12月3日(水)に開催するセミナーでは、東北大学大学院文学研究科 心理学研究室 教授の坂井信之氏を講師に迎え、「モノを消費する時代は終わりなのか?~品質を超える価値創造~」をテーマにご講演いただきます。

セミナーのポイント

- 東北大学大学院文学研究科 心理学研究室 教授 坂井信之氏による講演
- 心理学と認知神経科学の視点から「モノづくりの本質」を解説
- 消費者が求める価値とは?商品開発・ブランディングのヒント満載
- 講演後には名刺交換会で講師と直接交流可能

こんな方におすすめ

- 消費者心理を踏まえた商品開発に関心のある方
- モノづくりの価値を再発見したい方
- 自社製品の魅力を効果的に伝えたい方



東北大学大学院文学研究科 心理学研究室 教授 坂井信之氏

開催概要

項目	内容	
日時	2025年12月3日(水)13:30~15:00(講演後、名刺交換会あり)	
会場	仙台市産業振興事業団 会議室A(仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階)	
対象	中小企業・個人事業主など(関心のある方はどなたでも参加可能	
定員	20名(先着)	スマートフォンは こちらから
参加費	無料	
詳細・申込	https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/event/20251203_terakoyasendai.html	

講師プロフィール

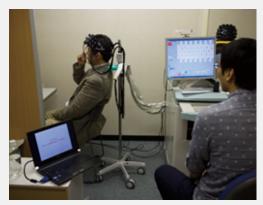
坂井信之(さかいのぶゆき)氏

東北大学大学院文学研究科 心理学研究室 教授 応用心理学・認知神経科学を専門とし、消費者行動 や商品評価に関する研究を行う。2024年に設立さ れた「総合知インフォマティクス研究センター」セ ンター長を務めるほか、農学研究科や加齢医学研究 所などでも兼務。

ご紹介する内容(予定)

- モノづくりの現状の確認 ~食品を通して考える~
- 消費者はどのように商品を味わっているか ~消費者と化学分析装置は違う~
- 品質の良さは消費者に伝わっているか ~コミュニケーションの大切さ~
- 消費者はおいしさをどのように感じているのか
- 総合知インフォマティクス研究センターの取組紹介

坂井先生の研究の様子



飲料を摂取しているときの脳応答の記録



飲料を摂取しているときの唾液反射の記録

セミナー概要

「モノ消費よりコト消費」という言葉が定着し、モノづくりの未来に不安を感じる方も多いのではないでしょうか。しかし、安心してください。モノづくりには、まだまだ可能性があります。本セミナーでは、消費者が本当に求めている「モノ」とは何かを、心理学の視点から紐解きます。コト消費の裏には必ず「モノ」が存在し、そのモノを通じて、どのように価値や体験を伝えていけるのか、新たなヒントを探ります。

また、2024年に設立された「総合知インフォマティクス研究センター」のセンター長も務める坂井先生より、同センターの取り組みについてもご紹介いただく予定です。

報道関係の方からのお問い合わせ先

公益財団法人 仙台市産業振興事業団

成長促進部 開発支援課

電話番号:022-724-1116

青 FAX番号:022-715-8205

メールアドレス: sanren@siip.city.sendai.jp